



遠
2378
80

文政五年壬午新版

月夜歌
吉お
之池
ほみ

馬琴今作曲豆圃画
書肆 仙鶴堂



積善の家餘慶あり積悪の門餘殃あり佛經の輪回應報儒説の

所謂汝小空は汝小返りの是のこれ田原の駕とす崔の蛤とす

ものゝ鯨の黄熊とす蜀王杜宇の鷓鴣とす牛哀の虎とす褒君を

龍とす唐の姑措我日本のむろ田道忠魂大蛇とす義平の雷と

す梶原の馬蛇とす實方の崔とす武文の蟹とす枚擧の皇わと毛

況人の人とも前身われ後身あり伊豫の神野の僧上仙の死と弘仁帝と

形橘姫の後身即檀林皇后又彼曾我時致の信玄とけしとのふ加旃

炭団賣と夏の冷水賣と紅葉の吸物注連店と因ありの必果わ

浮世の垢を洗んと磨揚てもち池のわさ趣向今茲の急作その緒とくあり

文政五年壬午春正月新版 曲亭馬琴識 馬琴

壹

武田

田





左 閑齋
 右 頼馬齋
 法師の
 輪田
 及 鴉の憑 阿羊齋
 二山四五郎
 聖郎
 池の長者出九郎



左 閑齋
 右 頼馬齋
 桂の前の後身
 草刈四子次郎
 豊嶋有盛の奥方
 桂の前



右 荏王羅文
 羽織の推が後の
 世や捨卒都婆

片屋の
 孝女も王

燕師丸の傳
 片屋

北越 牧之
 過て窓
 あり返る

野上



野上六が
 後身立野



右 鶏忠

野上二六

左 羅文

三口園作が後身
 其品

三口園作





其のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに...



柱 輪 五... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに...

其のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに...

其のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに... 上人のせりふもいふに...



一、あんなに...
 二、あんなに...
 三、あんなに...
 四、あんなに...
 五、あんなに...
 六、あんなに...
 七、あんなに...
 八、あんなに...
 九、あんなに...
 十、あんなに...



一、あんなに...
 二、あんなに...
 三、あんなに...
 四、あんなに...
 五、あんなに...
 六、あんなに...
 七、あんなに...
 八、あんなに...
 九、あんなに...
 十、あんなに...



一、あんなに...
 二、あんなに...
 三、あんなに...
 四、あんなに...
 五、あんなに...
 六、あんなに...
 七、あんなに...
 八、あんなに...
 九、あんなに...
 十、あんなに...



一、あんなに...
 二、あんなに...
 三、あんなに...
 四、あんなに...
 五、あんなに...
 六、あんなに...
 七、あんなに...
 八、あんなに...
 九、あんなに...
 十、あんなに...



月夜の山を歩くは
 月の光はまぶしく
 影は長く伸びて
 行くは行くは
 行くは行くは

上巻
 上巻



上巻
 上巻

月夜の山を歩くは
 月の光はまぶしく
 影は長く伸びて
 行くは行くは
 行くは行くは

月夜の山を歩くは
 月の光はまぶしく
 影は長く伸びて
 行くは行くは
 行くは行くは



下巻
 下巻

月夜の山を歩くは
 月の光はまぶしく
 影は長く伸びて
 行くは行くは
 行くは行くは



おのれをばか
村のねいの
よるまじい

世田の
おのれをばか
村のねいの
よるまじい
おのれをばか
村のねいの
よるまじい



世田
おのれをばか
村のねいの
よるまじい
おのれをばか
村のねいの
よるまじい

おのれをばか
村のねいの
よるまじい
おのれをばか
村のねいの
よるまじい
おのれをばか
村のねいの
よるまじい

甲斐守... 村の... 甲斐守... 村の... 甲斐守... 村の...

おのころ... 甲斐守... 村の... 甲斐守... 村の...



おのころ... 甲斐守... 村の... 甲斐守... 村の... おのころ... 甲斐守... 村の... 甲斐守... 村の...

五

甲斐守... 村の... 甲斐守... 村の... 甲斐守... 村の...



おのころ... 甲斐守... 村の... 甲斐守... 村の...



おのころ... 甲斐守... 村の... 甲斐守... 村の...

▲又あまのつゆ雲の
 これをうらみそとて
 天津彦彦の命を
 出立ぬらむとて
 のちふらむとて
 今もあまのつゆ
 之れといふとて
 今もあまのつゆ
 今もあまのつゆ



又あまのつゆ雲の
 これをうらみそとて
 天津彦彦の命を
 出立ぬらむとて
 のちふらむとて
 今もあまのつゆ
 之れといふとて
 今もあまのつゆ
 今もあまのつゆ

あまのつゆ雲の
 これをうらみそとて
 天津彦彦の命を
 出立ぬらむとて
 のちふらむとて
 今もあまのつゆ
 之れといふとて
 今もあまのつゆ
 今もあまのつゆ



あまのつゆ雲の
 これをうらみそとて
 天津彦彦の命を
 出立ぬらむとて
 のちふらむとて
 今もあまのつゆ
 之れといふとて
 今もあまのつゆ
 今もあまのつゆ



そのひだりのあつちのうらみまじりていよいよ
 ようちれがくちかみけいとおげつりるわが
 ぬい九段のわういそよりあけてはたのまがらふ

かたよりのあつちのうらみまじりていよいよ
 ようちれがくちかみけいとおげつりるわが
 ぬい九段のわういそよりあけてはたのまがらふ

おののちのうらみまじりていよいよ
 ようちれがくちかみけいとおげつりるわが
 ぬい九段のわういそよりあけてはたのまがらふ



おののちのうらみまじりていよいよ
 ようちれがくちかみけいとおげつりるわが
 ぬい九段のわういそよりあけてはたのまがらふ

おののちのうらみまじりていよいよ
 ようちれがくちかみけいとおげつりるわが
 ぬい九段のわういそよりあけてはたのまがらふ

おののちのうらみまじりていよいよ
 ようちれがくちかみけいとおげつりるわが
 ぬい九段のわういそよりあけてはたのまがらふ

ち五
 十五



お前のありひみぢと
 れてんりんとまき
 うせしんのみかど
 三つうさあてま
 かねまきまのうさ
 志れはそのまをも
 ちとせこれらち
 すいそのあま
 とそひいしと
 ちひくせあ
 ちひくせあ
 ちひくせあ
 ちひくせあ

せやゆいーがま
 まのめと引つれ
 ようそひておま
 入れつそのま
 おまひつひお
 さるのまぢゆ
 又九段がゆ
 四十段がゆ
 ころりころり

おまひつひ
 あけのあま
 かねどよひ
 けりねんご
 けりねんご
 けりねんご
 けりねんご



せやゆいーがま
 まのめと引つれ
 ようそひておま
 入れつそのま
 おまひつひお
 さるのまぢゆ
 又九段がゆ
 四十段がゆ
 ころりころり

おまひつひ
 あけのあま
 かねどよひ
 けりねんご
 けりねんご
 けりねんご
 けりねんご

十七
 十七
 十七
 十七

そのつまるねれど
やれよよのつもの
とらふあつ
うらふあつ
かのまをゆとら
とらふあつ
お玉



お玉のつまるねれど
やれよよのつもの
とらふあつ
うらふあつ
かのまをゆとら
とらふあつ
お玉

お玉のつまるねれど
やれよよのつもの
とらふあつ
うらふあつ
かのまをゆとら
とらふあつ
お玉



お玉のつまるねれど
やれよよのつもの
とらふあつ
うらふあつ
かのまをゆとら
とらふあつ
お玉

あやうら



あやうら...
あやうら...
あやうら...

あやうら...
あやうら...
あやうら...



あやうら...
あやうら...

あやうら...
あやうら...

あやうら...
あやうら...
あやうら...

あやうら...
あやうら...
あやうら...

あやうら...
あやうら...
あやうら...

あやうら...
あやうら...
あやうら...

あやうら



あやうら...
あやうら...
あやうら...



あやうら

玉之池
夜吉阿
六全
册部

